

平成29年度 学校評価

<p>本年度の重点目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活への明るく前向きな意欲の喚起 ・自らの可能性を發揮させる指導の工夫 ・個々の事情を踏まえたきめ細やかな指導の推進 ・自らを律し、他を思いやる心の育成 ・産業界や地域と連携した体験的な教育活動の充実 ・明るく爽やかな学習環境の整備 ・多忙化解消に向けた業務の合理化 			
<p>項目</p>	<p>(担当)</p>	<p>重点目標</p>	<p>具体的方策</p>	<p>留意事項</p>
<p>学習指導</p>	<p>(教務部)</p>	<p>学習指導の充実</p>	<p>・基礎的、基本的な知識・技能を習得させる。</p>	<p>・各学年及び各教科と連携をとり、生徒の学習習慣の定着を図るための具体的な取組を行う。</p>
		<p>主体的・対話的で深い学びの充実</p>	<p>・学習指導要領改訂を見据え、各教科で主体的・対話的で深い学びの研究を推進する。</p>	<p>・主体的で対話的充実を図るため、アクティブラーニング期間における授業参観を充実させる。</p>
	<p>(商業科)</p>	<p>アクティブ・ラーニングの推進</p>	<p>・各科目の学習指導において、言語活動を充実させる取り組みを積極的に行う。</p>	<p>・育成したい生徒の能力を明確にして、アクティブ・ラーニングを活用するように留意する。</p>
		<p>問題解決能力の育成</p>	<p>・3年生の「課題研究」を中心に、様々な課題を解決する取り組みを行う。</p>	<p>・かまざまな課題に取り組み、多くの成功や失敗から、生徒に学びの体験をする機会を作る。</p>
<p>生徒指導</p>	<p>(生徒指導部)</p>	<p>温かな人間関係の構築と生徒の自主性を高める</p>	<p>・学校へ集う者同士の温かな人間関係の構築と生徒が自ら考え行動できるよう明るく楽しい学校生活を送らせる。</p>	<p>・生徒の心に寄り添うとともに、生徒自らが考え行動できるように指導する。</p>
		<p>交通安全教育の強化</p>	<p>・警察、自動車学校等と連携し、交通安全教育の強化を図る。</p>	<p>・200日間無事故無違反キャンペーンに参加し、交通マナーの徹底を図る。</p>
	<p>(1年学年会)</p>	<p>家庭との連携による規範意識と主体性の育成</p>	<p>・家庭との連携を密にし、欠席・遅刻・早退を減少させるとともに、清潔感のある身だしなみを心がけさせる。</p>	<p>・学年全体で情報を共有し、学年全体での組織的な指導体制を構築する。 ・関係機関との連携も視野に入れながら、個々の事情に配慮する。</p>
	<p>(2年学年会)</p>	<p>家庭との連携による規範意識の育成</p>	<p>・家庭との連携を密にして、安易な欠席・遅刻・早退を防止する。</p>	<p>・出欠状況が思わしくない生徒に対しては、担任から確実に連絡を入れ、生徒及び家庭環境等の状況を把握する。 ・関係機関との連携も視野に入れながら、個々の事情に配慮する。</p>
			<p>・端正な身だしなみを心がけさせるとともに、コミュニケーション能力の育成を図る。</p>	<p>・学年全体で情報を共有し、学年全体での指導を徹底する。</p>
	<p>(3年学年会)</p>	<p>生徒の主体性を重んじた指導に取り組む</p>	<p>・単に規則だから守れという指導ではなく、なぜその規則が必要なのかという意味を伝えていく。 ・生徒自らが主体的に取り組むまで「待つ」ことも選択肢の一つに入れて対応する。</p>	<p>・生徒との対話を大切にして一方通行の指導にならないことを意識するとともに、家庭との連携を密にする。 ・生徒一人一人の個性を尊重して、面接指導や履歴書指導等を適切に進める。</p>
	<p>進路指導</p>	<p>(進路指導部)</p>	<p>キャリア教育の充実</p>	<p>・企業や学校への研修という形で実習することにより、コミュニケーション能力の向上を図る。 ・進路目標に対する生徒の意識の高揚を図る。</p>
<p>面接指導の充実</p>			<p>・一人ひとりの生徒の事情を踏まえた、きめ細かな指導に努める。</p>	<p>・多様化する生徒増加のため、きめ細かな指導に留意する。</p>
<p>健康安全</p>	<p>(保健部)</p>	<p>生徒保健委員会の充実</p>	<p>・環境衛生検査、校内美化活動の補助、毎日の健康調査を行う。</p>	<p>・委員会活動を充実させることにより、健康や環境美化に関する生徒の意識を高める。</p>
		<p>健康安全の推進</p>	<p>・生徒の心と体の問題の早期発見・早期対応に努める。</p>	<p>・生活意識調査を実施し、生徒の状況把握につとめる。 ・スクールカウンセラー等の外部機関との連絡を緊密にする。</p>
			<p>・AED(心肺蘇生法を含む)やエビベン正しい利用法の理解とその徹底を図る。</p>	<p>・AEDやエビベンについて、正しい手順を理解し、実践できるよう模擬体験を実施する。</p>
			<p>・老朽箇所の修繕、不安全状態の改善を行う。</p>	<p>・学期に1回、安全点検を実施する。 ・修理を要する箇所は、係がまとめて対処する。</p>
<p>防災</p>	<p>(生徒指導部)</p>	<p>防災意識の高揚</p>	<p>・防災意識を年間3回の避難訓練を通して高揚させる。</p>	<p>・自衛隊、消防署と連携して訓練を工夫する。</p>
<p>特別活動</p>	<p>(生徒会部)</p>	<p>生徒会活動の活性化</p>	<p>・生徒会行事の見直し。</p>	<p>・総合学科に向けて、行事のあり方を検討する。</p>
		<p>部活動の活性化</p>	<p>・部活動の見直し。</p>	<p>・総合学科に向けて、統廃合等を検討する。</p>
<p>環境美化</p>	<p>(保健部)</p>	<p>清掃の徹底</p>	<p>・毎日の清掃活動を徹底して行い、快適な学習環境を整備する。</p>	<p>・清掃道具の整備・点検を学期ごとに行う。 ・校舎外の清掃を行う。</p>
	<p>(総務部)</p>	<p>緑化の推進</p>	<p>・玄関前花壇に花の苗を植える。また、植込み等の剪定伐採を通して、明るい環境を作る。</p>	<p>・PTA役員会及び企画委員会を中心にして、保護者と共に考える。</p>

項目	(担当)	重点目標	具体的方策	留意事項
学校図書館	(図書部)	利用しやすい図書館づくり	・生徒の興味を引く本、学習に役立つ本を充実させ、魅力ある図書館を目指す。	・学科改編も控えているので、長い目で見て生徒の知的好奇心充足に値する、資料性の高い本も選書していく。
開かれた学校づくり	(総務部)	保護者との連携	・PTA活動を活性化し、保護者と学校とのより円滑な連携を図る。 ・PTA総会を土曜日にするなど、保護者が学校へ来やすい環境をつくる。	・メール配信等を活用し、保護者との連携を深め、保護者のより主体的な活動を促す。
	(教務部)	校務のICT化の推進	・メソフィア（校務支援システム）の活用を推進する。 ・学科改編を考慮した校内ネットワークの再構築を計画する。	・各分掌及び学年と連携を図りメソフィア（校務支援システム）の円滑な運用を行うため、マニュアルの作成を推進する。 ・各分掌と協力し、学校全体のICT化を推し進める。
	(商業科)	地域との連携および交流	・学習活動の活性化のために、様々な地域機関との連携を図る。 ・販売実習や、地域連携プロジェクトを通じて、地域の方々との積極的な交流を図る。	・3年生の「課題研究」で、老人ホームや保育園、各種学校や地域の企業と緊密に連携し、地域社会との交流を図る。 ・3年生の「課題研究」において、さまざまな地域機関との連携により、「げんきまつり守山」や「愛知県商業教育フェア」等での販売実習を行う。また、「志段味古墳群歴史の里」計画にさまざまな形で参加し、積極的に地域との連携を図る。
いじめ防止対策の推進	(生徒指導部) (保健部)	いじめの未然防止に係る取組みの充実	・全校集会や学年集会・ホームルーム活動において、いじめ防止をテーマとして取り上げ、生徒一人ひとりがいじめ問題について主体的に考える機会を設ける。	・生徒一人ひとりが、いじめ問題について主体的に考え、自らに関わる問題として捉え、その防止について考えるようにする。
		いじめの早期発見、適切な事案対処	・いじめの情報収集、事案対処に係る学校いじめ防止対策組織の役割を具体化し、教職員間で共有するとともに、生徒や保護者にも周知する。	・学校いじめ防止対策組織の役割を生徒や保護者に周知することで、生徒が安心して学校生活を送ることができるような環境づくりを行う。
			・生活意識調査の実施方法やその後の対処の在り方について検証し、いじめの早期発見、適切な対応につなげる。	・生徒が記入しやすいアンケートの様式や実施方法、その後の組織的な対応の在り方について検討する。
危機管理体制		不審者侵入への対応	・不審者侵入に備えた危機管理マニュアルの組織的な対応の確認を行い、情報の共有を図るとともに、意識の高揚を図る。	・マニュアルの確認を行うとともに、不審者情報を的確に把握し、報告・連絡・相談の組織的な体制を確実に実行する。
		個人情報管理	・生徒の個人情報管理・運営規定を見直すとともに、生徒の権利利益を侵害しないよう努める。 ・個人情報の管理方法について自己点検を全職員が行い、個人情報を適切に管理する。	・生徒の個人情報管理についての意識を高め、その保管・管理の徹底に努める。 ・常に危機管理意識を持ち、その管理方法について注意と確認を繰り返す。
学校関係者評価を実施する主な評価項目			・生徒のもつ力を最大限に発揮させ、明るく前向きな学校生活への取り組みの喚起 ・生徒一人一人へのきめ細かい指導と組織的な対応 ・総合学科に向けての学習環境（教育課程）の整備と地域や中学校への情報発信	